日中友好新聞

府連通信

2008年12月号
日本中国友好協会大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
茶屋町10-6
阪急北ビル４階
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:jcfa@jt8.so-net.ne.jp
ホームページ
http://www005.upp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/

中国残留日本人孤児大阪訴訟
団結のための集会に１００名が集う

十一月二四日、天王寺ＹＭＣＡ学院高等学校で中国「残留孤児」大阪原告団と弁護団、支援団体の人達が、訴訟が終結し新たな支援策開始から半年が経過しようとしているなかで、これまでの活動を振り返って総括し、今後のあり方について考えようと集会が開かれました。

松田利夫大阪原告団団長は「五年間にわたる裁判闘争のなかで、多くの苦難を乗り越え、みんなの力で大きな成果を勝ち取ったことを喜びたい。そして多くの弁護団の先生や支援団体の皆様に感謝します。今後も団員の団結を維持して行くことが重要である」と力強く報告されました。

集会冒頭で写真スライド「五年間の活動を振り返る」が上映されました。また二部の懇親会では団員の手作り餃子を食べながら、参加者全員が和やかに懇談し、団員有志の「ヤンコ踊り」も披露されました。

大阪府連・高瀬龍二事務局長が連帯の挨拶を行ない、通訳は府連中国語講師の白山諭加子先生が担当しました。（Ｔ）

西支部・きり絵教室
「牛」をテーマに開催

きり絵のイメージは園児という想いでした。しかし、初めての参加で若葉マークです。何をどうすればよいか全くわからない状況でしたが、講師の稲田先生の手短なわかりやすい説明で、不安も忘れ一身不乱に紙との格闘、しかし周りの会話を聞く限り、かなり遅れている感じ、肩にも力が入り、こんなはずではなかったのにと、最後は先生にも少し手伝っていただき、何とか時間内には終了、出来てみれば綺麗なもの、よくよく見れば細かい所アラも見える、しかし自己満足、何か製作するって、いつの事でしたかなあと思うと、また次回、機会がある時に挑戦をします。今度はもっと、もっと多くの人の参加を。（Ｈ）

（十一月二一日開催）

太極拳研修会伊豆熱川で開催
腰と股関節の緩め方・基本動作を学ぶ

十一月二二～二四日、静岡県伊豆熱川での本部指導員講習会に近畿から十名が参加しました。

今回ご指導にあたられたのは、中国雲南省出身、北京体育大学武術学部卒業で、現在は日本体育大学大学院に在籍されている劉志老師、三四歳のイケメン老師でした。

北海道から長崎まで総勢五五名が四二式総合太極拳を習いました。基本的な身体の使い方は恒岡先生に言われている事と同じで、違和感がなく楽しく練習が出来ました。

説明もユーモアを交えて解りやすく、低さ、高さは自分が出来る状態でやれば良い、力を入れすぎないとか、皆でする時はスピードを合わせるなど、特に腰、股関節の緩め方の注意がありました。

Ｔシャツ一枚になって見せてもらった背中、肩甲骨の動きもよく解り、全員満足です。

今回参加してやはり柔軟性（頭、身体共）の必要も感じましたので、教えていただいた準備体操をしっかり身に付けたいと思いました。劉老師の追っかけになって帰ってきました。（Ｏ）

０９年守口太極拳教室新春初けいこ

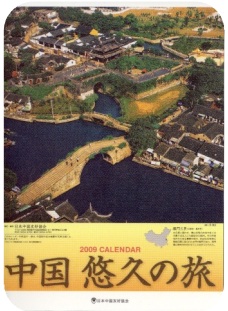
会　場：守口市民体育館・２階武道館
（京阪電車守口市駅下車すぐ、畳のため上靴不要））

参加費：1000円
１月１２日(祝)
午前１０～１６時
守口支部主催

詳細は大阪府連へ06-6372-8131

今年も年末恒例の日中カレンダーを

毎年好評の、日中カレンダーを販売しています。府連財政強化と四川地震カンパ協力をかねて。　日中カレンダーは一本、１２００円です



連絡先：大阪府連06-6372-8131

本部第一回理事会

京劇公演や文化活動の経験を交流

十一月二九～三〇日、東京にて本部第一回理事会が開催され新しく結成した沖縄支部二名を含め六〇名の役員が参加し、大阪府連からは渡辺、松尾、高瀬が出席しました。

一日目の情勢論議では田母神前空幕長「論文」にみられる歴史認識問題の討議を中心に、憲法九条を守る活動の報告や、中国の「食の問題」についての意見が出されました。

つづいての活動報告では、北京風雷京劇団全国公演の総括が報告されました。各組織の一年以上に及ぶ奮闘で全国十三公演、一万四千人が来場し大きな成功をおさめました。また京劇の取り組みのなかで多くの団体や市民との輪が広がり、会員も増えたことが報告されました。ただ財政面や運営面などで多くの課題も出されました。

また中国帰国者問題や中国人研修生問題についても熱心な討論がなされました。

二日目の文化活動では各地の中国語講座の生徒数が減少してい る問題や、太極拳教室の運営のあり方、中国映画などについて、意見がありました。

年末の財政・事業活動では一万五百本の「日中カレンダー」の普及についての報告があり、財政強化のため完売をめざすことが確認されました。組織活動では、「奈良支部再建」の経過報告がされ、全国で二万人の強固な組織をめざして奮闘していくことを決めました。

また来春、各ブロックで「支部活動交流会」を開催し、支部活動を重視した活動経験交流を深めていきます。

２０１０年には協会創立六十周年を迎えます。この節目の年を記念する事業計画の検討をすすめることが本部から提起されました。

府連常任理事会開く

十二月三日、府連にて第六回常任理事会を開催しました。

本部理事会の報告につづいて、次の年末課題が確認されました。

①「日中カレンダー」を二百五十本普及する。

②「年末募金」目標五十万円を集める。

③二月十五日の「日中春のつどい」を成功させる。

④七百名の強固な府連組織を構築していく。支部の再建と強化につとめる。

⑤来年の奈良支部再建へ支援を強める。

文化活動では「きりえ教室」（年賀状・干支色紙）の報告がされました。

また、二月二八日と三月一日の両日、中部・関西ブロック合同で「支部活動交流会議」が滋賀県大津市で開催されます。

各支部の活動を持ち寄り経験を交流し、成功させましょう。

労働災害多発と報道機関との癒着

アメリカ発の金輸危機と中国政府の対応

中国の出稼ぎ労働者は都市部にとどまらず、炭鉱に５００万人以上もの労働者が働いています。炭鉱では安全教育がおろそかにされ、事故が多発しています。今までそのほとんどが報道されず、今年に入ってからも山西省や河北省の炭鉱で事故が発生し、三ヶ月も過ぎてから発覚しました。それは現地へ取材に行ったマスコミが、事故の口止め料をもらっていた事が分かったからです。

中国週刊新聞の一部報道によると『事故報道の口止め料をもらう為に長い行列を作っていた』との事です。このように一部とはいえ地方政府と企業家が炭鉱閉鎖を恐れて結託し、安全を無視し人命軽視を続け中央政府への報告を隠蔽していたのです。

アメリカ発の金輸危機が世界的に広がり中国も例外ではありません。輸出を中心に苦境に追い込まれ企業の倒産が増加しています。とり分け弱者である出稼ぎ労働者にしわ寄せが集中しています。労働条件の悪化を防ぐ監視体制が急がれます。

また金融不安の中、政府は内需拡大のための四兆元（五八兆円）の緊急経済対策を発表、失業対策を含め低家賃住宅の建設や社会資本の充実のため交通網の整備、ガス、水道をはじめ校舎建設医療の充実などのインフラ整備と、低所得者向けの補助拡大、企業への融資などの緊急政策を発表。五月に起きた大地震の四川省を中心とした復興事業を加速するため前倒しで実施することも決められました。

（常任理事　松原弥寿夫）

日中友好運動の発展をめざす年末募金のお願い

ここ数年大阪府連の財政状況は厳しくなってきています。

今年はアメリカ発の経済不況が吹き荒れ、皆様の暮らしも大変なこととは思いますが、活動資金強化のため募金への御協力をお願いします。

二〇〇八年十二月

日中友好協会大阪府連合会
会　長　渡辺　武
理事長　片山英徳
事務局長　高瀬龍二

日中春のつどいご案内

日　時：2009年２月１５日（日）午後1時～3時
会　場：中華料理・楓林閣（ふうりんかく）
阿倍野アポロビル・９階06-6649-1055
参加費　：４０００円（要予約）
福引もあります。誘い合ってご参加下さい
問い合わせ先：日中大阪府連合会　06-6372-8131

府連事務所は年末年始の休暇のため、十二月二八日から一月四日まで休ませていただきます。よいお年をお迎え下さい。